

大会名	平成29年度北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会 女子準決勝								
28A1	2018	年	1	月	28	日	9	:	00
場所	津幡町運動公園体育館								



北信越バスケットボール協会

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

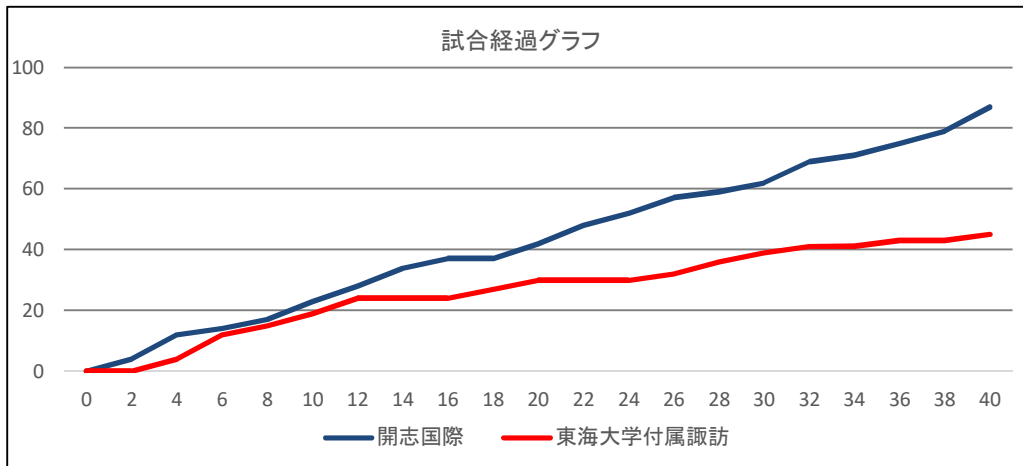
チームA		チームB
開志国際	23 1st 19	東海大学付属諏訪
	19 2nd 11	
新潟県1位	20 3rd 9	45
	25 4th 6	長野県1位
○	OT	●

主審:Referee
大井 明 長野県
第1副審:Umpire1
阿部 暢史 新潟県
第2副審:Umpire2
小田原 誠 石川県
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
津幡高等学校

TEAM A		開志国際					
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF
4	*	松浦 なずな	13	3	2	0	3
5		福田 有理	0				
6	*	阿部 菜々	16	2	5	0	1
7		神戸 美柚	4	0	2	0	1
8		佐々木 莉乃	2	0	1	0	0
9		向川 葵	6	0	3	0	0
10		濱江 麻冬	0	0	0	0	0
11	*	柴山 瑠菜	13	1	4	2	2
12		伊藤 和希	0	0	0	0	0
13		文山 乃野楓	0	0	0	0	0
14		奈良 凜音	5	0	2	1	4
15	*	ザンブ アストゥ	15	0	7	1	1
16		木村 真唯	6	0	3	0	4
17		坂齋 綾南	0				
18	*	小野寺 佑奈	7	0	3	1	2
HC		伊藤 翔太	-	-	-	-	0
合計			87	6	32	5	18

TEAM B		東海大学付属諏訪					
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF
4	*	御子柴 百香	14	1	4	3	2
5	*	三ツ石 理乃	6	0	2	2	0
6		竹内 愛海	0				
7		安藤 未以菜	2	0	1	0	0
8	*	佐々木 芽妃	2	0	1	0	2
9		中島 あかり	2	0	1	0	0
10		山本 怜	2	0	0	2	1
11		小林 はな	0	0	0	0	0
12		高野 真由	0	0	0	0	0
13		佐藤 生実	0	0	0	0	1
14	*	柴 美波	10	1	2	3	3
15		矢野 晴菜	0	0	0	0	0
16	*	古畑 瑞枝	7	0	3	1	5
17		寺島 伶	0	0	0	0	1
18		飯塚 彩乃	0	0	0	0	0
HC		神澤 徳	-	-	-	-	0
合計			45	2	14	11	15

s : スタートメンバー PTS : 得点 3P FG : 3P イントシュート 2P FG : 2P イントシュート FT : フリースロー PF : ハードファウル



長身の留学生を擁する開志国際がインサイドを支配するのに対して、アウトサイドから多彩な攻撃を繰り広げる東海大学付属諏訪という両チームの持ち味が発揮される見ごたえのあるゲームとなった。

第1Qから開志国際は#15ザンブにボールを集め、ゴール下シュートやリバウンドシュートでリードを広げる。東海大学付属諏訪はアウトサイドからの崩しでシュートまで持ち込むが、決めきれずに苦しい展開が続く。残り5分52秒、開志国際の速攻が決まったところで東海大学付属諏訪がタイムアウト。その後も開志国際が#11柴山の3Pシュートなど優位に試合を進めた。

第2Qから東海大学付属諏訪はディフェンスを修正してインサイドの失点を止めたが、開志国際は#18小野寺を起点にゲームを組み立てて主導権を譲らない。東海大学付属諏訪はセットオフenseからファウルを誘って1点ずつ積み重ねるが、開志国際が42-30と二桁まで得点差を伸ばして前半終了。

第3Qも開志国際はスターティングメンバーで開始し、#18小野寺のスピードあふれるプレーから#15ザンブへの合わせが決まる。ここで開志国際は#15ザンブをベンチに下げるが、タイトなディフェンスや運動量あふれるオフenseで少しずつリードを広げていった。東海大学付属諏訪はパスミスなどもあって得点が伸びないが、ディフェンスで粘りながら#4御子柴のドライブや#16古畑のインサイドプレーでワンゴールずつ返し、一時は一進一退の攻防が続く。しかし、開志国際#6阿部の連続3Pシュートに#4松浦の3Pシュートも続き、開志国際のリードは23点まで広がった。第4Q、東海大学付属諏訪は#16古畑がインサイドで存在感を示すが、痛恨のファウルアウト。開志国際は交代したメンバーもディフェンスの手を緩めず、速攻で加点して最後まで試合をコントロールし、87-45で開志国際が決勝戦にコマを進めた。